

第2回吹田市立勤労者会館指定管理者候補者選定委員会議事要旨

1 日 時 令和4年9月28日(水) 午後1時30分～午後3時15分

2 場 所 メイシアター レセプションホール

3 【出 席 者】樋口委員・徳原委員・田島委員・江口委員・橋本委員

【欠 席 者】なし

【事 務 局】萩原参事・西村主査・幅岸主任

4 案 件 吹田市立勤労者会館指定管理者選定

5 会議次第

(1)開会

(2)応募状況について

(3)選定方法について

(4)財務状況について御説明

(5)プレゼンテーション及びヒアリング

(6)採点・集計

(7)指定管理者候補者についての答申

(8)今後のスケジュール等について

事務局：ただ今より、「第2回吹田市立勤労者会館指定管理者候補者選定委員会」を開催させていただきます。委員の皆様方には、大変お忙しいところご出席いただき、誠にありがとうございます。それでは、ここからの進行は委員長にお願いしたいと思います。

委員長：それでは、第2回吹田市立勤労者会館指定管理者候補者選定委員会を進行させていただきます。本日の委員会では指定管理者候補者について選定することとなります。選定に際しましては、皆様の忌憚のないご意見、また公平な立場でのご意見をいただきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。
まず、本日の委員会の成立状況について、事務局より報告を受けます。

事務局：本日の委員会の成立状況についてご報告いたします。本選定委員会の総数 5名中出席者は5名ですので、「吹田市立勤労者会館施行規則第25条第2項」の規定により、半数以上の出席があり、本選定委員会は成立していることをご報告いたします。なお、本日の選定委員会は、会議の性格上、非公開とさせていただくものでございます。

委員長：次に応募状況及び選定方法について事務局より説明をお願いします。

事務局：今回の指定管理者の応募につきましては8月24日から9月7日までの応募期間に、1団体から申請がございました。指定管理者候補者の決定につきましては、より公平で公正な選定をしていただくため、申請者によるプレゼンテーションを受けることといたしておりまして、選定基準に基づき審査をし、答申をお出しいただければと考えております。

まず、資料の確認ですが先に送付いたしました申請書類1グループ分と本日配布資料

- ・次第

- ・【資料1】吹田市立勤労者会館指定管理者候補者選定にかかる応募者プレゼンテーション等について

- ・【資料2】吹田市立勤労者会館指定管理者候補者の選定方法

- ・吹田市立勤労者会館指定管理者候補者選定委員会 採点表(1社分)

以上が資料となります。

【資料1】「吹田市立勤労者会館指定管理者選定にかかる応募者プレゼンテーション等について」説明

【資料2】「選定方法」について説明

委員長：ただいま事務局より説明がありましたが、ご質問やご意見があればお願いします。ないようでしたら、委員から各団体の財務状況について説明を受けたいと思いますがよろしいですか。

【各団体の財務状況説明】

委員長：ありがとうございました。それでは、申請者1からのプレゼンテーションを受けることといたしますが、事前準備がありますので、申請者1の入室を許可したいと思います。

【申請者1 入室】

【プロジェクター・パソコン準備】

委員長：ただいまより【申請者1】のプレゼンテーションを開始いたします。事務局より説明をお願いします。

事務局：プレゼンテーションの時間は20分間です。残り時間5分前にはベルを1回ならします。時間になりましたら、ベルを2回ならしますので速やかに説明を終えてください。

【プレゼンテーション開始・終了】

委員長：それでは、ヒアリングに移りたいと思います。

委員：施設目的が割と特徴的だと思うが、他にもたくさんスポーツ施設など指定管理を受けていらっしゃるようですが、ここだから難しいところなど感想からお聞かせください。

申請者1：勤労者会館といった施設はあまり経験がないのは事実です。市内の指定管理を受託している施設はプールですし、直営施設はプールがあるところが多く、プールに関しては問題なくできていると思います。ただこちらの施設の特徴的なところで、水深が少し深いため子供さんが入れないです。子供さんが入れるように、現在、赤台といってプールフロアを入れて親御さんと入れるようにしている。そこは少し特徴的なところかなと思います。

1～3階のスペースに会議室がありますが、他のスポーツ施設にもあるのですが、研修室や舞台がある施設がなかなかなく、そういったところの集客には苦勞している状況です。

ただ、今抽選会を行っているが、かなりの利用応募が入ってきています。勤労者会

館ではスポーツ以外で実施事業があり、他の施設では英会話・語学教室・将棋などの文化教室等はないので特徴的な施設であると思っています。利用目的の趣旨が健康増進や文化促進という二面的な部分があるので、その目的を果たすために、それらの教室を開催しているところです。

委員：9年半、こちらの施設を管理されているが、具体的に勤労者の中のどういった層に対してプログラムがうまくいったか、あるいはどの層には、うまく来場・リピートに繋がっていないのか、9年半の総括、対象者層やプログラムに対する分析をお聞かせください。

申請者1：前回の指定期間からは運動プログラムを増やし、新しく卓球台を入れ、子供から高齢者までの利用、あらゆる世代の方ができるスポーツ、趣味ということで入れているところです。かなり人気のため増設も考えています。

苦労している点では、働く世代の利用獲得です。利用者は高齢者が非常に多い。今回提案している「レズミルズプログラム」というものは、世界各国でやっている音楽を基準にしたプログラムで、初心者から上級者まで参加でき、勤労者層の年代の利用が多いので、こういったところに誘客、利用促進をして勤労者に見ていただきたい。もう少し下の年代、20～30代の方には、もう少し何か策は必要だと思っています。ただ、興味を持っている方はいらっしやと思いますし、今回提案している自主事業において24時間WEBで予約ができるシステムを入れることで、忙しく仕事をしていらっしやの方が施設に来ずに予約できることで、もう少し幅広い年齢層、特に若い方への利用者も増えるのではと考え企画させていただきました。

いままで夜間や土日の自主事業の開催が少なかったが、この度土曜午前中に勤労者の方だけではなく、「リラクゼーションプログラム」という教室を開催しております。今後も新しいプログラムを取り入れ、若年層の取り込みを行っていきたい。

委員：では次の5年は、リピート層よりも新規の方を対象とし、若い年齢層を中心にした取り組みを加えていきたいという風に理解してもよろしいでしょうか？

申請者1：その通りです。先ほどのプレゼンテーションでもありましたが、水泳教室では、親子向けのプログラムを行いたい。将来的には子供向け水泳教室ができると、親子連れで来場できる施設になるのではと思っています。ただ、水深等の安全面では特に注意が必要なため、簡単にできるとは思っておりません。

また人生100年時代になり高齢者も多いため、高齢者も守りつつ、新しい層も入れて行っていないと、今回掲げている目標はかなり厳しいと考えております。

目標人数については、平成30年度をベースに設定しているが、未だ人数制限や人気のカラオケができてないという制限があり、アフターコロナに対して今まで通りに

はならない。

今までの層だけではなく、新しい層も開拓していく必要があると。施設の名前も新しくなったので、新たな出発をしたいと考えております。

委員：ここ2、3年コロナや改修工事があり、利用者数の獲得はかなり厳しかったと思うが、リニューアルオープンしてからコロナ以前と比べて現在の状況をお聞かせください。

申請者1：2019年をもとにすると、集会施設に関しては7割ほど、その他の利用は63%ほどです。

委員：コロナの第8波もあるかもしれませんが、なかなか戻らないということもあるが、来年に新薬ができて、もしかすると利用者数も戻ってくるのではと期待したい。

委員：改修工事の期間中、スタッフはどのように過ごされていたのですか。

申請者1：マニュアルの作成や、リニューアルに向けて自主事業の準備や、研修、予約システムの改修や準備をしていました。また順番に勤務することで調整をしていました。

委員：今回提案している事業や施設運営を進めるにあたり、特に代表団体の財政基盤が重要になるかと思います。直近3か年の決算資料を見せていただきまして、やはりコロナの影響を受けていらっしゃるとお見受けしますし、徐々にコロナも落ち着いてきていると思いますが、長く続いた場合の対策や、コロナが落ち着いた場合にコロナ前の事業を続けて集客や利益が戻るのかなど、この先の展望について伺いたい。

申請者1：コロナの影響で、一昨年には10店舗近く閉店し、体制を筋肉質にしている状況でございます。直近の今年度第1四半期については、黒字だが、まだ予断を許さない状況。会社をあげて実施している一つに「地域スポーツ事業」があり、子どもの学校水泳の受託をしています。弊社のスポーツクラブに、小学校の授業を受けにくるということを各自治体様から受託しているもので、まだそんなに多くはないのですが、例えば埼玉県志木市様だと8校の小学校で行っており、指導料を売り上げに計上しています。というように、今まで実施していなかった事業を広めていっている状況です。

また直営事業に関しては、コロナによって子供向けの教室の人の戻りがよかったので、今まで子供向けのスクールが入っていなかったところに、スクール、例えば水泳やテニスを入れ始めています。大人だけのスポーツクラブではなく、子供のコンテン

ツを入れることで、大人のいない時間に子供たちに利用してもらうことで収入をあげていく。PPP 事業本部という部署があり、公民連携が主だか、指定管理や PFI というのも会社の方向性と考えています。現在の黒字を維持し、今年度は黒字を目指したい。

委員:2 点お伺いしたいのですが、1 点目は勤労者会館の中で一番事故リスクがあるプールの要員配置や監視体制について。2 点目は目標 15 万人達成のための取り組みや意気込みをお聞かせください。

申請者1:1 点目については、毎月安全の日 17 日に研修を行い、事故が起きないように体制強化しており、事故の際の報告体制は社内の規定にそって行っているところです。緊急時のシミュレーションや救助方法・対応は全スタッフに指導し、夏などの利用が増える時期の前には全社・全本部で進めています。また利用者が多いときの監視体制の強化は会社の方針でもあるので、スクールの指導者・監視者プラス α で安全管理を行っているところです。

委員:事故が起こらないように、監視体制には重々しっかりやっていただきたい。

申請者1:2 点目については、今回の目標はコロナ前に勝ちたいと思ったので、15 万人という目標を掲げました。ハードルの高い目標ではあるので、何ができるかいろいろ地域団体に面談にいきました。利用促進するために何ができるかまだ決まっていないが、元々喫茶室をやっていたぷくぷく福祉会さんや、吹田商工会議所などと繋がりを持っていることで利用団体が増えると考えています。また自主事業のプログラムも今までと違うものをいれていく、興味をもってもらうものを増やしていくことで、徐々に利用者数も戻ってくるのではと考えています。また、この施設は皆様に愛されているという自負があるので、コロナで行けなかったが行こうかなといった層をどう取り込んでいくかを現場でも考えている。今年は「1 日 1 善活動」というものを行っており、スタッフが 1 日 1 つ行った良いことを書いて、スタッフ公開し意識を高めていくというものを現場では実施している。そのような新しい企画やシステムを入れていくことで、相乗効果でうまくいったら良いと思っています。

委員:ここの施設の立地の良さをうまく活用できるような取組などをして、目標を達成していただきたい。

委員:ビジネスモデルの転換期で、いち早く取り組んでいращやるのが素晴らしいなと感じているのですが、財務のところが気になるので確認したい。直近 3 年のデータより以前

のところで覚えていらっしゃたら、営業利益や推移などを1つお聞きしたい。

申請者1:正確な数字はわからないのですが、平成30年度が14億5300万円で、その前の年度もそれに近い数字を推移していたと思われます。

委員:49期(2019年度)の最後2か月の営業利益がマイナスしているのは、コロナの影響だと思うが、そのほかにも何か要因があったか？

申請者1:一番大きいのはコロナで全国の直営施設を2か月休館していたときです。また50周年記念で会員割引をしたので、そのとき売上の影響もきている。割合にすると2・3月の会費ゼロが一番大きいです。

委員:グループ企業で親会社との関係性でいうと借入金という形で対応があると思うが、そのあたりは、何かあれば借入金という対応をされているのか？

申請者1:グループ内で調達するということになっています

委員:それは今後も継続していく予定ですか？

申請者1:今後も継続して行っていく予定です。

委員:コロナ禍という厳しい状況ではあるが、指定管理という公の制度のため、やはり途中でダメだったというのは避けなければならない。指定管理者として親会社も含めてそれ以上のそれ以上の覚悟を持って運営していただければ、私共も安心してお任せできると考えています。

申請者1:5年と言わずその先も続けてこの施設を管理していきたいのは会社としてあります。親会社が厳しいというお声もあったが、実は親会社はスマートフォンゲームなどで最高利益を出しており潤沢な現金があって、グループ会社としては支援いただけていると思っている。次の5年も安心してお任せいただければと思います。

委員長:それでは、これで申請者1のプレゼンテーション並びにヒアリングを終了いたします。

【申請者1 退室】

委員長：以上を持ちまして、申請者によるプレゼンテーションは終了いたしました。ただいまから、各委員の採点に移りたいと思いますが、よろしいでしょうか。

【各委員採点】

委員長：採点は終了しましたでしょうか。今一度、内容をご確認ください。よろしければ、事務局に集計をお願いします。その間休憩を取らせていただきます。

【事務局採点表回収・集計】

委員長：選定委員会を再開いたします。集計結果について事務局より説明をお願いします。

事務局：各委員の採点結果につきましては、ホワイトボード記載のとおりでございます。各委員の採点合計の平均点は73.6点で、最低基準を満たしております。

なお、採点が終わりましたので、申請者のグループ名について報告いたします。グループ名は「吹田まちづくりパートナーズ」、代表団体は「コナミスポーツ株式会社」、構成団体は「南海ビルサービス株式会社」です。

委員長：それでは、諮問のありました吹田市立勤労者会館指定管理者候補者について採決をさせていただきます。本選定委員会としまして、申請者1の「吹田まちづくりパートナーズ」を指定管理者の候補者とするに御異議ございませんか。

【異議なしの声】

委員長：それでは、ただ今の決議により、吹田市立勤労者会館の指定管理者の候補者について決定をいたしました。つきましては、本選定委員会より吹田市長に対しまして、候補者の選定について答申を行うことといたします。

委員長：それでは最後に事務局から今後のスケジュール等について報告をお願いします。

事務局：各委員のみなさまにおかれましては、長時間にわたってありがとうございました。

今後の予定でございますが、この選定委員会の選定結果を受け、10月中に選定結果の通知を申請者に行います。その後、仮協定の締結後、11月定例会におきまして指定管理者の指定にかかる議案を上程させていただきます。市議会での議決を得て本協定となり、令和5年4月から5年間、施設の管理運営をお願いすることとなっております。

また今回の選定による指定管理を開始して2年目の令和6年度及び4年目の令和8年度には、第三者によるモニタリングを実施することとなっております。

委員の皆様にもご依頼させていただくこととなっております。またその際に、御協力いただければ幸いです。

本日の選定委員会の結果等につきましては、ホームページで公表をさせていただきます。

なお、議事特等については、最終各委員に送付させていただき、御確認をお願いする予定です。

委員長：ありがとうございます。ただいま事務局から説明がありましたが、今後、本日の選定結果をもとに、必要な事務手続きを進めていただきますようお願いいたします。以上、本日の答申をもちまして本選定委員会は終了いたします。ありがとうございました。